

患者様から「最も選ばれる病院」を目指します

摩周の風

2008 1月号

Vol. 2

摩周厚生病院
広報誌編集委員会

新年にあたって

院長 森 正光

当院にとって開院6年目となる新年を迎えました。過ぎてしまえば早かったと感じる5年間でしたが、その間、病院として多くの苦労を経験し実績を積み重ね、さらに反省を元に病院は成長してきました。多くの課題がありましたが、職員一同の努力によって一つ一つ改善してきたのではないかと考えています。

最近の医療を取り巻く状況は非常に厳しく、経営面においても、マンパワーの確保においても困難な状況が続いています。一昨年来の診療報酬の改定に加え、医師不足の問題は、当院にも直接的打撃を与えています。これらの問題は、現場での努力だけでは解決ならず、本来は、医療行政が効果ある対策を実行しなくてはならない課題であると考えます。しかし、このような状況にあって、私たちの地域医療へ果たす役割は益々大きなものとなっています。孜々として自らの役割を果たしていくことが地域に根ざした評価される病院をつくるために重要であると考えます。今年もまた、職員一同、一丸となってチーム医療を行い、最も信頼され選ばれる病院作りをしていきましょう。

部門 紹介

こんにちは、
訪問看護ステーションです。



私達の事業所では、訪問看護と居宅介護支援（ケアマネジャー）を行っています。現在、利用者数は、訪問看護35名、居宅介護支援60名ほどです。利用者様が、住み慣れた自宅で安心して生活できるよう、院内の医師・看護師、地域の保健・医療機関、サービス事業者と連携を図りながら、援助させていただいております。今後、利用者様のニーズに応えられる体制作り、より質の高いケアを提供できるよう努めていきます。

スタッフ紹介



所長 深井 裕子（看護師・ケアマネジャー）
人生の大先輩である利用者様に色々教えていただきながら
仕事をしています。



太田 浩美（看護師・ケアマネジャー）
ご本人・家族の意向を大切に援助しています。



村山 由佳子（看護師・ケアマネジャー）
訪問時は、笑顔で話やすく、相談しやすい雰囲気を大切にしています。



畑 由美（看護師）
今までの価値観や生活習慣を大切にすること、個人のペースに合わせた援助を心掛けています。

訪問用の自家用車です。



※ 在宅の生活や介護に関すること、介護保険のことなど、お気軽にご相談ください。

直通電話 015-482-8800

蝦夷太鼓の勇壮な響きが



平成19年11月6日火曜日 11時より町内南弟子屈小学校の生徒の皆さんによる「蝦夷太鼓」が披露されました。デイルームでは患者様が多く詰め掛け、太鼓の音が響きはじめると患者の皆様が聞き入っている様子が見受けられました。太鼓の力強い音が体の奥まで響くような演奏で、元気が出てくるようでした。また聞ける機会があると嬉しいですね！！ (M)

2007 クリスマス会盛大に開催

色々なギターやハワイの楽器のようなものを持ったボランティアの方々がすばらしい音楽を聞かせてくれました。やさしい音色で懐かしい歌も流れたりして、ロズさむ患者様の様子が見られました。西病棟スタッフがヨサコイの力強い踊りも見せてくれて、患者様もみているスタッフもとても力付けられたと思います。最後に岡野副院長扮するサンタが患者様の間をとおりに、動けない方の病室へも行ってプレゼントを配って、楽しいクリスマス会は終了しました。毎年行われている行事ですが、その年その年での楽しみがあります。また来年も素敵なクリスマスを過ごしたいと感じました。(M)





メタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）に注意！！

外来 保健師 北 和枝

メタボリックシンドロームとは、内臓脂肪型肥満に加えて、内臓脂肪型肥満をもとにした血圧値、血糖値、脂質値などの異常を複数併せ持っている状態で、動脈硬化になりやすい状態のことを意味しています。メタボリックシンドロームで注目しなければならないのは、糖尿病・脂質異常症(高脂血症)・高血圧のひとつひとつの異常はごく軽い異常であっても、これらが重なり合っている状態は動脈硬化が急速に進行している状態を示しており、ある日突然、心筋梗塞や脳血管障害になって、命を落としたり、命を取りとめても重い後遺症を患ったりすることにあります。

生活習慣病の重複状態であるメタボリックシンドロームは、生活習慣を早めに改善することで予防できます。またすでに診断された方も同様に生活習慣を見直していくことで改善が期待できます。健康診断の結果は、注意が必要な病気や生活習慣の改善ポイントを知る重要な手掛かりです。是非、年に一度の健康診断を有効に活用して、メタボリックシンドロームを予防・改善してください。

メタボリックシンドロームの診断基準

- 内臓脂肪蓄積
ウエスト周径：男性 **85cm** 以上
女性 **90cm** 以上
立位で軽く息をはいて測定する。測定場所は、臍の周りとする
ただし、脂肪が著明で、臍が下がっている場合、肋骨の一番下と腰の骨の一番上（前上腸骨棘）のちょうど真ん中を測定する。
- 上記に加えて以下のうち2項目以上
 - ① 脂質の代謝異常
中性脂肪が **150mg/dL** 以上かつ低 HDL コレステロール血症 **<40mg/dL** のいずれか
または両方
 - ② 血圧高値
最高血圧 **130mmHg** 以上 最低血圧 **85mmHg** 以上のいずれか、または両方
 - ③ 高血糖
空腹時血糖 **110 mg/dL** 以上

平成 20 年 2 月からの診療体制

診療科	医師名	診療日									
		月		火		水		木		金	
		午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後
内科	森	●	-	●	-	●	-	●	-	●	●
	佐々木	-	●	-	-	-	●	-	-	-	-
	担当医	-	-	-	休診	-	-	-	休診	-	-
外科	岡野	●	●	●	-	●	●	●	●	●	※1
整形外科	舩田	●	●	●	●	●	-	●	●	●	※2
皮膚科	水元	診療日 水曜日			1月23日・2月6日・2月20日 3月5日・3月19日						
眼科	桑田	診療日 火曜日の午後			1月22日・2月12日・2月26日 3月11日・3月25日						

◇ 受付時間 午前8:30～11:30 午後1:00～4:00

(内科の午後診療受付は午後2:00～4:00まで)

(皮膚科の午後診療受付は午後1:00～3:00まで)

金曜日午後 外科 ※1…………… 第2週・第4週は診療あり
整形外科※2…………… 第1週・第3週・第5週は診療あり

編集後記

2008年1月号を発刊できました。皆様の感想をお聞かせください。昨今の医療の話題といえば、新聞紙上を賑わせている「医療崩壊」の記事ではないでしょうか。いろいろな情報があふれていますが、「医療崩壊」がキーワードの新書を2冊紹介します。結構興味深く読めます。これからの道筋がみえるような気がします。1つは「貧乏人は医者にかかるな！ 医者不足が招く医療崩壊」永田 宏著・集英社新書。あと1つは「誰が日本の医療を殺すのか 医療崩壊の知られざる真実」本田 宏著・洋泉社新書。現実としては、私たちはこの地で医療を実践しています。もうひとふんばりというところでしょうか。(H.T)